

欧州特許庁（EPO）、カンピーノス長官が再任

2022年6月29日
JETRO テュッセルドルフ事務所

欧州特許庁（EPO）は、2022年6月29日、同日ミュンヘンで開催された欧州特許機構管理理事会にて、EPOのカンピーノス長官が再任され、同氏の任期を2023年7月1日から更に5年間とすることが決定された旨、ニュースリリースにて公表した。

カンピーノス氏は、2018年7月1日にEPO長官に任命され、同氏のリーダーシップの下でEPOは2019年に戦略計画2023を開始し、持続可能性とユーザーおよび一般市民への最高品質のサービス提供に重点を置いています。

そして、カンピーノス長官は再任について次のように述べている。

「1期目を務めたのは光栄なことであり、2期目も再任したことを光栄に思う。これまでの業績に大きく貢献し、イノベーション社会のニーズを満たすグローバルな特許制度の構築に重要な役割を果たしてきた同僚や関係者と一緒に働くことを楽しみにしている。」

— EPOのニュースリリースは、以下参照 —

[António Campinos reappointed President of the European Patent Office](#)

(以上)